

## 1 4 知立市南陽発展会（知立市）

### 地域自主防犯活動活発化促進事業

#### 実施結果報告書

1 団体名	知立市南陽発展会
2 事業名	八ツ田小学校区子供の安全推進事業
3 事業実施 結果	<p>地域の子供の安全対策として、次のとおり事業を実施した。</p> <p>1 子供とその保護者に向けた啓発イベントの企画・実施</p> <p>○ 防犯教室の開催（9月25日）</p> <p>安城警察署から講師を招き、八ツ田小学校 1～3 年生の低学年 210 人を対象に開催した。参加者には防犯ブザーを配布し、不審者の見分け方やブザーの使用方法を実際に体験するなど、実践的な教室を通じて防犯力の向上を図った。</p> <p style="text-align: center;">防犯教室の様子①</p> 

## 防犯教室の様子②



### 保護者向けに配布した説明資料

南陽発展会から八ツ田小1・2・3年生へ、愛知県の「地域自主防犯活動活発化促進事業」を利用して防犯ブザーをお配りしました。

※初期不具合は、中日新聞 知立南陽店までご連絡ください。  
TEL 0566-81-2551

#### 【防犯ブザーには教護要請効果と犯行抑止効果が期待できます】

もし不審者に襲われそうになった時、子供が出す声の大きさは知れていますし、恐怖で声が出なくなってしまうかもしれません。防犯ブザーの音は、直感的に緊急性や非常性を感じる大音量の音が出るようになっており、子供の大声よりも周囲に響き渡ります。

子供を狙うような変質者は目立つことを嫌います。防犯ブザーを身につけることで、犯行を思いとどまらせる効果が期待できます。

#### 【防犯ブザーの取り付け位置】

「ショルダーベルトの前面についているDフック」に掛け、後ろから抱きつかれた時に相手の腕で隠れないよう腰の辺りに本体がくるようにします。サイドフックにかけていたり、ポケットに入れてはとっさに鳴らすことができません。



また、首からかけるのはNGです。不審者に遭遇し防犯ブザーを鳴らした時、不審者がとる行動は『逃げる』か『ブザーを止める』です。ブザーを止める行動をとられると、不審者にその気がなくても防犯ブザーを引っ張ったときに、首が絞まって大変危険な状態になります。

#### 【月に1回は点検を】

防犯ブザーは、いざと言うときに使えるようにしておかなければ意味がありません。最低でも月に一回は子供の練習も兼ねて、ちゃんと鳴るのか確認しましょう。

南陽発展会 ミテラ（見守る・照らす）活動

配布した防犯ブザー



メディアへの掲載が下記の通り行われた。

① 9月26日付 中日新聞朝刊 西三河版

(この記事は中日新聞社の許諾を得て転載しています)



② 10月26日付 知立くらしのニュースプラス

(第4金曜発行 中日新聞折込+全域配布 発行部数 27,100部)

(この記事は中日総合サービス三河支社の許諾を得て転載しています)



2 こども 110 番の家の役割を担うものとして、南陽発展会所属店舗・企業にのぼり旗を設置し、防犯啓発、子供達の駆け込み先増加を図った。

名称を「キッズ ステーション」とし、背景色を見かけることの少ない緑、親しみやすいように子供のイラストを採用。

「ミテラ活動」

- ・今回の事業、子供を見守る活動
- ・従来からの事業  
街路灯の設置・維持で街を照らす活動  
また、未来を照らすという意味も込めて「ミテラ活動」と名付けた。



南陽発展会区域における八ツ田小学校区こども 110 番の家の登録実態

登録 27 軒中

のぼり旗掲示あり	8 軒
のぼり旗の掲示があるが見えない	1 軒
のぼり旗が破れて掲示物として機能していない	6 軒
のぼり旗の掲示がない	12 軒

こども 110 番の家が形骸化しつつあることが分かる。

ここに発展会所属の 27 店が参加し、大幅な増加（3 店が重複しているため 24 軒増）となった。

周知には先の防犯教室の他、知立くらしのニュースに掲載をお願いした。

③ 12月14日付 知立くらしのニュース

(第2金曜発行 中日新聞折込 発行部数14,050部)

(この記事は中日総合サービス三河支社の許諾を得て転載しています)



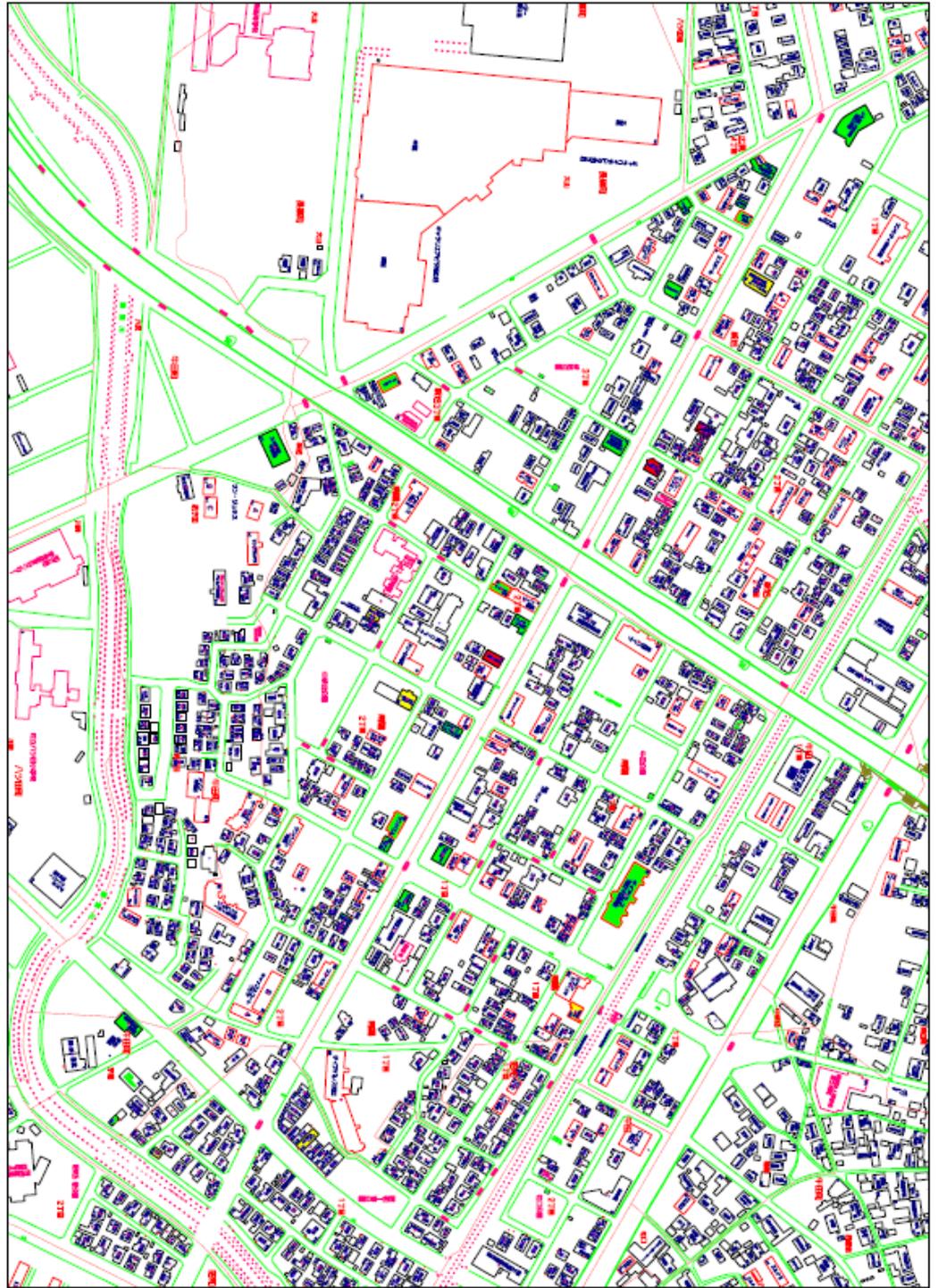
**南陽発展会がのほり旗設置**  
子供を見守る「ミテラ活動」の一環

南陽発展会の加盟店・事業所に、防犯啓発用に作られた緑色ののほり旗が掲げられています。同発展会は別の店や事業所で構成、これまで街路灯事業で明るいまちづくりを進めてきました。今回は、子供たちの安全を見守る活動として地元の八ツ田小1〜3年生に防犯ブザーを配布。併せて、店先などに「キッズステーション」を掲げている同会役員の高橋正司さんは「犯罪が起らないのが一番大切。この旗でこの地域が防犯に力を入れて、店先が分り啓発になりま

す。川合正彦会長は「犯罪を抑止するのが大切。のほりを立てることで各店の防犯に対する意識の向上にもつながっています。」

のほり旗を紹介する南陽発展会の高橋さん

3 事業実施  
結果



- 黄色 : 子ども 110 番の家
- 緑色 : キッズステーション
- 赤色 : 両方

<p>4 成果と課題 及び今後の 取組</p>	<p>(1) 事業実施の成果及び課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駆け込み先の大幅増加 8 軒→32 軒</li> <li>・ 形骸化させないため、年度毎にのぼり旗の交換</li> <li>・ 駆け込み時の対応訓練やマニュアル作成の検討</li> <li>・ 南陽発展会区域外の対応</li> </ul> <p>(2) 今後の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単年度事業ではなく、毎年新1年生を対象とするような継続的な取組 としたい。</li> <li>・ 店舗、事業主とのコミュニケーション作り 防犯見廻り活動（ベスト、腕章、たすき等、視認できるもの） のぼり掲示店舗をまわるスタンプラリーの実施</li> <li>・ 小学校との連携 P T A等保護者会への参加、意見交換</li> </ul>
---------------------------------	---